

調査結果の概要

(平成17年7月3日執行 東京都議会議員選挙)

1 年代別にみた投票行動

・年代別推定投票率をみると、どの年齢層も前回都議選より低くなっているが、20歳の年代別推定投票率は前回より高くなっている。

今回都議選の平均実投票率は、43.99%で前回都議選の50.08%に比べ6.09ポイント低くなっている。

平均実投票率が低くなっているにもかかわらず、20歳の推定投票率は、今回33.48%で、前回の32.56%に比べ0.92ポイント高くなっている。

20歳以外の年代別推定投票率は、いずれも前回より低くなっており、特に、55～59歳の投票率は、59.69%で、前回の69.02%に比べ9.33ポイントと大幅に低くなっている。

・年代別推定投票率は21～24歳が最も低く、年齢とともに徐々に高くなっている。

21～24歳の年代別推定投票率が最も低く、年齢とともに徐々に高くなる。65歳～69歳代後半で最も高くなり、70歳以上で再び低くなる傾向がみられる。前回都議選と同様の傾向である。

・平均実投票率と年代別推定投票率を比較すると、40～44歳までは年代別推定投票率が平均実投票率より低く、45～49歳から年代別推定投票率が平均実投票率より高くなっている。

平均実投票率43.99%と各年齢の年代別推定投票率を比較してみると、20歳から40～44歳までは年代別推定投票率が平均実投票率より低くなっているが、45～49歳以上では、年代別推定投票率が平均実投票率を超えている。

30歳代の年代別推定投票率は、前回の都議選は38.73%で平均実投票率50.08%と比較すると11.35ポイントの大きな差があった。今回の都議選の30歳代の年代投票率は、32.31%で平均実投票率43.99%と比較すると11.68ポイント低くなっており、前回の都議選の差が、より広がる結果となった。

2 年代別・男女別にみた投票行動

・年代別推定投票率を男女別にみると、60歳～64歳までは女性が男性に比べ高くなっている。

平均実投票率は、男性は42.81%、女性は45.14%で、女性の方が2.33ポイント高くなっている。

年代別推定投票率をみると、20歳から60歳～64歳までは、女性が男性より高くなっている。

特に、45歳～49歳について、男性の年代別推定投票率43.53%に比較して、女性は48.44%で、女性が4.91ポイント高くなっている。

65歳～69歳から男性が女性より高くなっている。70歳代以上の差は大きく、男性の年代別推定投票率66.73%に対して、女性は55.15%で、11.58ポイント高くなっている。

3 年代別・地域別にみた投票行動

・平均実投票率を区部・市部・郡部・島部の地域別にみると、島部、郡部、区部、市部の順に高くなっている。

島しょ地区の平均実投票率は68.66%と他の地域に比べ20ポイント以上、高くなっている。

年代別推定投票率でも、島しょ地区は、20歳の28.05%は区部・市部・郡部より低くなっているが、その他の年齢層はいずれも大幅に高くなっている。

・年代別推定投票率の最も低い年代について、市部は21歳～24歳であるが、区部・郡部は25歳～29歳である。(島しょ地域を除く)

地域にかかわらず、全体でみた場合、前述のとおり、21歳～24歳の年代別推定投票率が最も低く、年齢とともに徐々に高くなる。

地域毎にみた場合、市部は21歳～24歳(22.72%)から25歳～29歳(23.32%)は、0.6ポイント高くなっており、全体と同様の傾向がみられる。

区部は21歳～24歳(23.09%)から25歳～29歳(22.88%)は、0.21ポイント低くなっており、年代別推定投票率が最も低くなっている。

区部と同様に、郡部についても、21歳～24歳(26.26%)から25歳～29歳(26.03%)は0.23ポイント低くなっている。

4 年代別・区部地域別投票行動

23区をさらに、都心地域、城南地域、城西地域、城北地域、城東地域の5つに分け、地域ごとの概要をまとめた。

都心地域(千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区)

平均実投票率、41.41%は5つの地域の中で最も低い。年代別推定投票率をみると、21歳～24歳が19.88%と低くなっている。

城南地域(品川区・大田区)

平均実投票率、44.50%は3番目の数値である。年代別推定投票率をみると、20歳代(27.11%)及び30歳代(34.55%)が5つの地域の中で最も高くなっているが、70歳代以上(58.93%)が都心地域に次いで低くなっている。

城西地域(目黒区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区)

平均実投票率、41.48%は4番目の数値である。年代別推定投票率をみると、20歳代(20.02%)及び30歳代(28.26%)が5つの地域の中で最も低くなっている。特に25歳～29歳が低く、18.40%となっている。

城北地域(豊島区・北区・板橋区・練馬区)

平均実投票率、45.81%は2番目に高い数値である。年代別推定投票率をみると、20歳代(23.77%)及び30歳代(31.91%)はいずれも3番目の数値であるが、50歳代(53.64%)は5つの地域の中で最も高くなっている。

城東地域(墨田区・江東区・荒川区・足立区・葛飾区・江戸川区)

平均実投票率、46.73%は5つの地域の中で最も高い。年代別推定投票率をみると、20歳代、30歳代、50歳代は他の地域の方が高くなっている。

注 平成13年6月24日執行、前回の東京都議会議員選挙について、「前回都議選」と略した。

今回行われた、平成17年7月3日執行、東京都議会議員選挙について、「今回都議選」と略した。